

2015年度 決算説明会

— 2015年度決算および2016年度計画 —

2016年4月27日

富士通フロンテック株式会社

代表取締役社長 下島 文明

1. 2015年度 通期決算概要

連結経営成績

※ 売上高、純利益共に2年連続で過去最高を更新

[億円]

摘要	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2015年度	1,201	55	47	33	135.93円
2014年度	1,089	44	48	28	116.68円
前年度比	+112	+11	△1	+5	
1月公表値	1,185	55	50	30	125.19円
1月公表比	+16	±0	△3	+3	

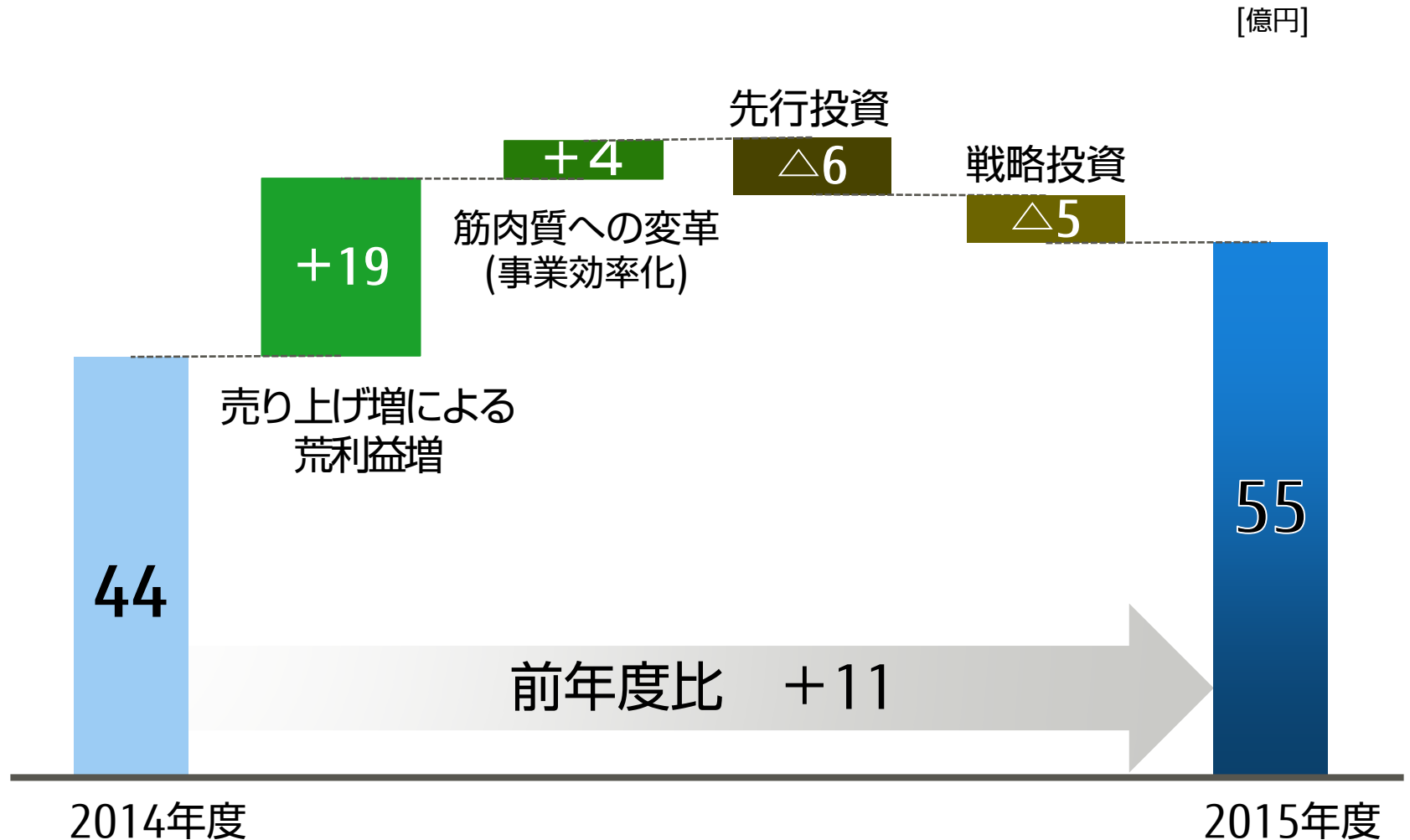
海外売上高 () 内は売上高比率 [億円]

※ 過去最高を更新

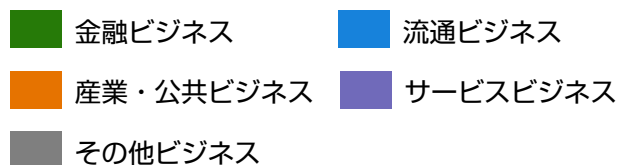
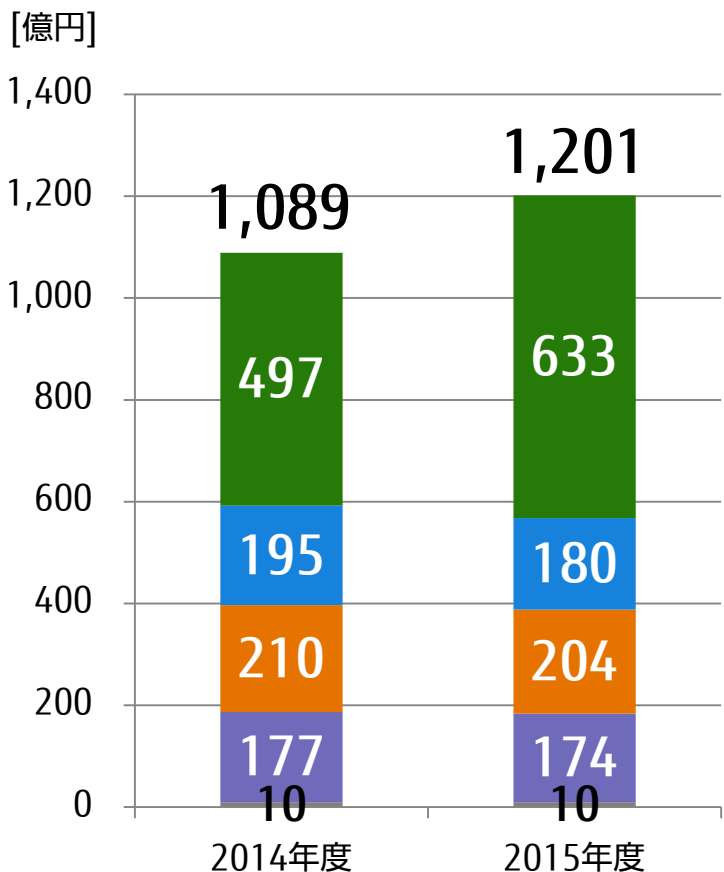
2015年度	352 (29.3%)
2014年度	332 (30.5%)

	期中平均為替レート (1USD=)
2015年度	120円
2014年度	110円

営業利益の主な増減要因



セグメント別売上高 (増減要因)



金融ビジネス 633億円 (前年度比+136億円, +27%)

- 国内向けATM/営業店端末更改需要増
- 海外メカコンポーネント拡大

流通ビジネス 180億円 (前年度比△15億円, △8%)

- モバイル端末、海外向けSCOの所要増
- 欧米向けPOSのSCM変更 (2015年4月～切替え)

産業・公共ビジネス204億円(前年度比△6億円,△3%)

- 公営競技向け大型表示装置、せりシステムの伸長
- トータリゼータ端末の大口需要の一巡

サービスビジネス 174億円 (前年度比△3億円, △2%)

- 流通店舗向けATM利用件数の伸び悩み
- キットティング等LCM導入サービスの増

セグメント別売上高・営業利益

[億円]

摘要	2014年度		2015年度		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
金融ビジネス	497	36	633	58	+136	+22
流通ビジネス	195	△9	180	△10	△15	△1
産業・公共ビジネス	210	16	204	16	△6	±0
サービスビジネス	177	11	174	10	△3	△1
その他ビジネス	10	1	10	1	±0	±0
全社費用 (戦略投資含む)	-	△11	-	△21	-	△10
計	1,089	44	1,201	55	+112	+11

地域別売上高

[億円]

摘要	2014年度	2015年度	増減額
国内	757	849	+92
海外 ()内は売上高比率	332 (30.5%)	352 (29.3%)	+20
米州	111	96	△15
欧州	100	123	+23
アジア	116	132	+16
【中国】	【83】	【97】	【+14】
その他	5	1	△4
計	1,089	1,201	+112

連結財政状態、キャッシュ・フロー

■ 連結財政状態

[億円]

摘要	総資産	負債 (有利子負債)	純資産
2015年度	728	324 (-)	404
2014年度	727	344 (14)	383
増減額	+1	△20 (△14)	+21

自己資本比率
55.1%
52.4%

※ 2015年度より無借金経営へ

■ 連結キャッシュ・フロー

[億円]

摘要	営業C/F A	投資C/F B	刈-C/F A+B	財務C/F C	C/F A+B+C	現金及び 現金同等物の 期末残高
2015年度	81	△22	59	△30	29	109
2014年度	67	△35	32	△16	16	81
増減額	+14	+13	+27	△14	+13	+28

※ 有利子負債の返済による減

2. 振り返り

～中期事業計画（2013～2015）～

振り返り (1)

➤ 中期戦略テーマ (B to B to Front)

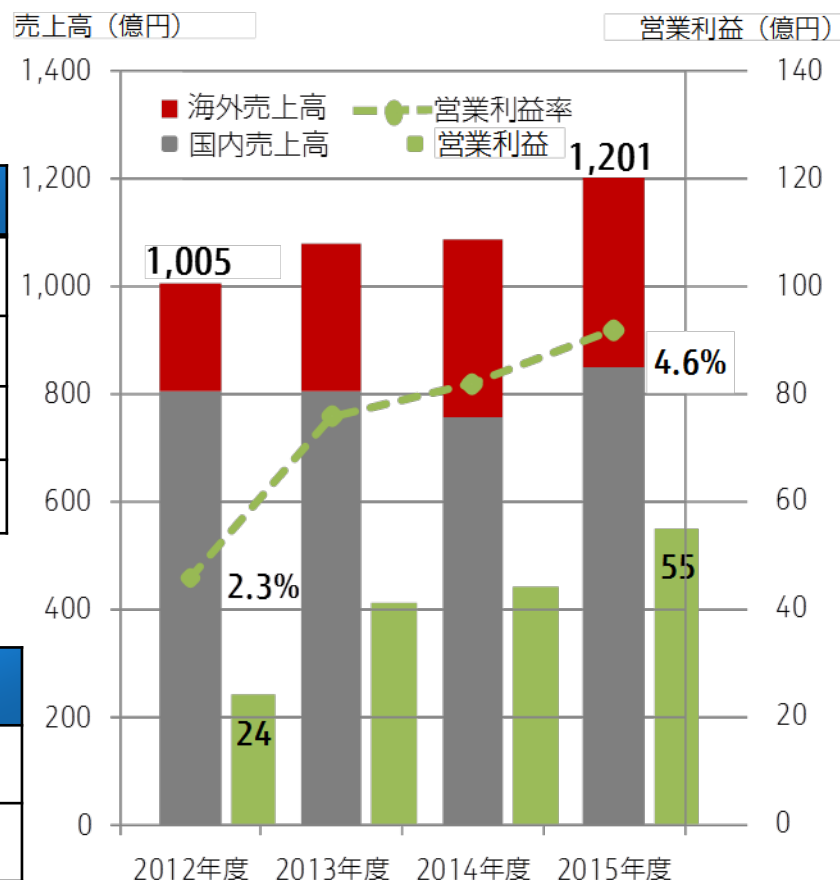
- プロダクト～ソリューション・サービスを含めたトータルビジネスの推進
- グローバルビジネスの戦略的な拡大
- 新ビジネス・新商品の創出
- 事業効率化の徹底継続

➤ 業績目標と結果

	目標値	2015年度実績
連結売上高	1,200億円	1,201億円
営業利益	60億円	55億円
営業利益率	5.0%	4.6%
海外売上高比率	30%	29.3%

➤ 売上高と営業利益の推移

	‘12年度	‘13年度	‘14年度	‘15年度
売上高	1,005	1,079	1,089	1,201
営業利益	24	41	44	55



プロダクト～ソリューション・サービスを含めたトータルビジネスの推進

連結売上高 2012年度：1,005億円 → 2015年度：1,201億円 (20%増)
内ソリューション・サービス： 273億円 → 283億円 (4%増)

- 国内ATM、営業店端末更改需要への確実な対応
(ATM：75%増、営業店端末：65%増 (15年度台数、対前年度比))
- サービス起点のビジネス拡大
(現金管理運用サービス、RFIDプラットフォーム商品化)

Next Step ⇒ 新たなフロントへの対応、提供価値の更なる革新
⇒ ソリューション、サービスビジネスの強化

グローバルビジネスの戦略的な拡大

海外売上高比率 2012年度：19.7% → 2015年度：29.3%

- ATM向けメカコンポーネントビジネス拡大
- 海外向けATM展開開始

Next Step ⇒ 新興国含む地域的拡大、ATM以外への適用分野拡大

新ビジネス・新商品の創出

- 新たなソリューションビジネス開発の体制確立
- 戦略投資枠を設け成長に寄与する投資を活性化
(手のひら静脈認証決済、北米入出金機ビジネス 等)

Next Step ⇒ フロントコアプロダクトのソリューション・サービス商品化加速

事業効率化の徹底継続

売上総利益率 2012年度：18.0% → 2015年度：19.5%

- フィリピン第2工場の立上げによる製造能力強化
- 構造改革による海外流通ビジネス益転、国内もSCM変更完了 (2016年4月～切替え)
- コストマネジメントの強化による商品競争力強化

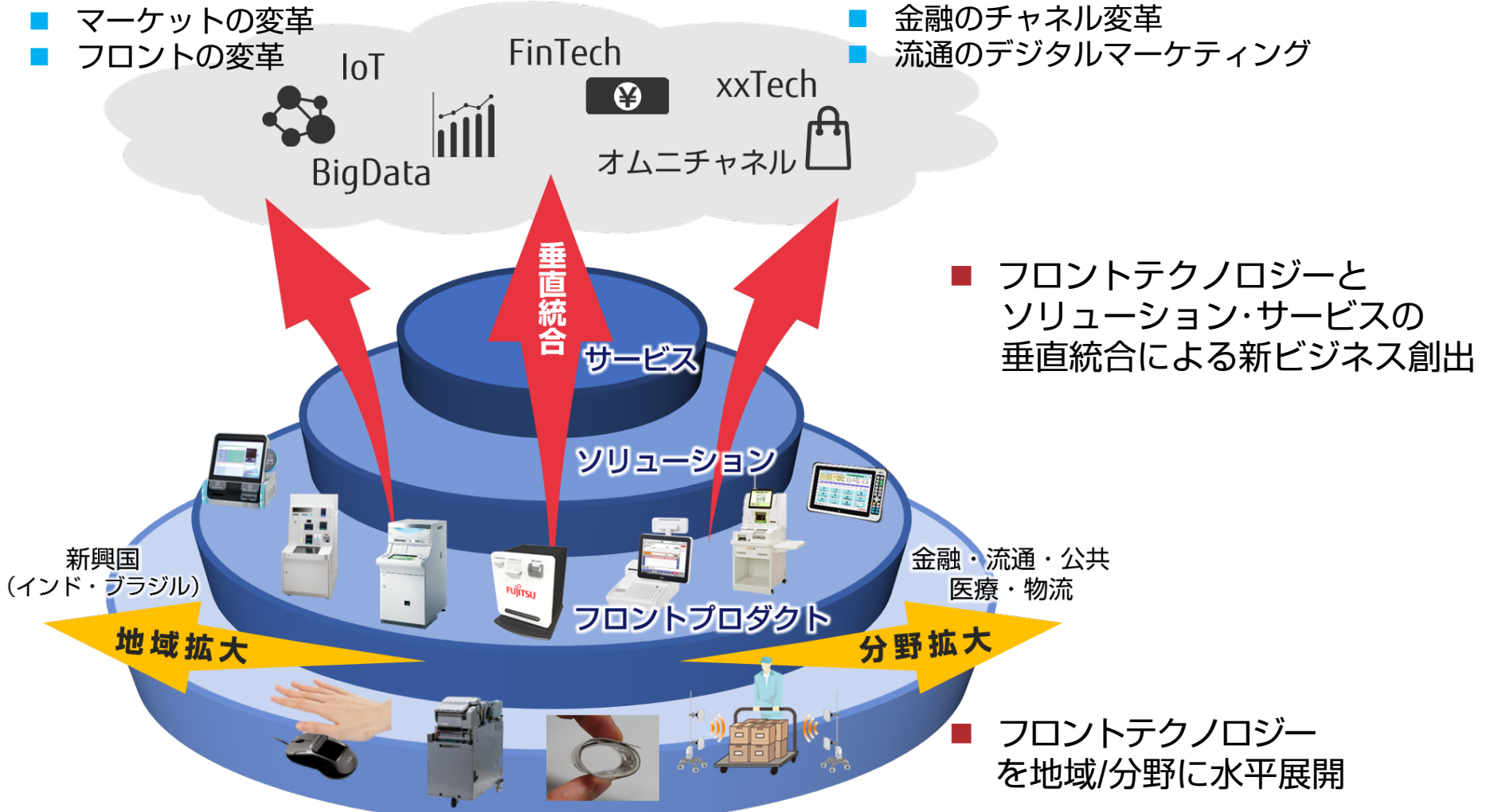
Next Step ⇒ 開発、生産プロセスの継続革新

3. 新たな中期事業計画と 2016年度の取り組み

進化するデジタル革新と当社の取り組み

- マーケットの変革
- フロントの変革

- 金融のチャネル変革
- 流通のデジタルマーケティング



- フロントテクノロジーとソリューション・サービスの垂直統合による新ビジネス創出

- フロントテクノロジーを地域/分野に水平展開

強味のあるフロントテクノロジー
紙幣鑑別、媒体搬送、手のひら静脈認証、
RFID/ビーコンなどセンシングデバイス etc.

新たな中期事業計画と目標値 (2016～)

➤ 中期戦略テーマ (B to B to Front)

海外ビジネスの領域拡大

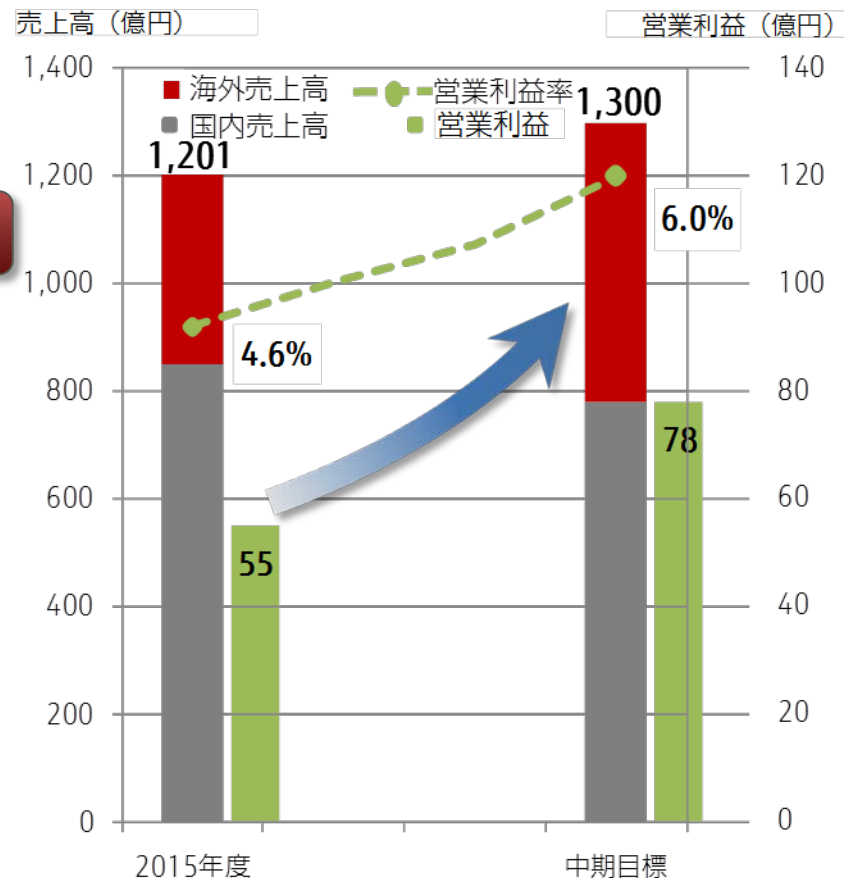
国内ビジネスの変革推進

フロントテクノロジーの強化・成長

事業効率化の更なる推進～プロセス革新～

➤ 業績目標

	2015年度実績	中期事業目標
連結売上高	1,201億円	1,300億円
営業利益	55億円	78億円
営業利益率	4.6%	6.0%
海外売上高比率	29.3%	40%



新セグメント

- ◆ 中期戦略テーマの実現、既存市場の変革や新技術への対応、および戦略ビジネス創出のために組織とセグメントを再編

グローバルプロダクトビジネス

サービスインテグレーションビジネス

パブリックソリューションビジネス

フロントソリューションビジネス

中期方針と2016年度の取り組み（1）

グローバルプロダクトビジネス

- ◆ 国内ATM、海外メカコンポーネント等の紙幣ハンドリングのノウハウを基にグローバルビジネスの領域を更に拡大

【中期目標 ⇒ 海外売上高比率40%】

- 営業店端末（国内）
 - 大型更改需要への確実な対応（台数ベース80%増）
 - 軽量化営業店舗向け製品の具体的な提案活性化
- ATM（国内）
 - 更改需要への確実な対応
 - 海外発行ICカード対応、モバイル連携など新たな価値の追求
- メカコンポーネント
 - 海外ATMベンダーとの連携強化。中国、欧米市場での更なる拡大
 - 北米SCO向け本格展開（小型リサイクル機）
 - 新興国向け次世代リサイクル機の開発
- 海外向け装置・ソリューション
 - 流通店舗フロント、バックオフィスにおける現金管理ソリューション拡販
 - 欧州向けATM機能強化、中国でのTCR開発推進

サービスインテグレーションビジネス

- ◆ サービスとシステムインテグレーションとの連携ビジネス拡大に合わせ、ワンストップでの顧客提案力・サポート力を強化
【中期目標 ⇒ ソリューション・サービス売上比率30%】

- 金融ソリューション
 - 顧客接点の強化、新たな顧客経験による価値提供
 - ⇒ Finplex（富士通新金融ソリューション体系）へのラインアップ化
 - ⇒ 欧州・北米市場へのアプローチ

- ソリューション+サービス
 - 現金運用管理サービスの市場拡大（ガソリンスタンド、ホテル、病院など）
 - ヘルプデスクの拡大とサービス基盤を活用した新規BPOビジネス獲得
 - ソリューション+サービスのシナジーを活かしたSI/LCMビジネス拡大

パブリックソリューションビジネス

- ◆ 産業・公共ビジネス、金型・切削ビジネス等、強みのあるコア技術を活かしたビジネス領域拡大とソリューションビジネス創出

【中期目標 ⇒ 売上高30%増】

➤ 公営競技ソリューション

- トータリゼータ8次端末、toto端末の開発
- 競技場向けサーバのサービスビジネス化推進
（キャッシュレス、ポイント、ギフト）

➤ 表示機器ソリューション

- せりシステム大口商談の獲得と展開
- デジタルサイネージ、スポーツスタジアム等関連商談への確実な対応

フロントソリューションビジネス

- 流通の製品強化に加え、RFIDやビーコン、手のひら静脈センサーを含めた先進デバイスを活用したソリューションビジネスの創出
【中期目標 ⇒ 新ビジネス創出 300億円目標】

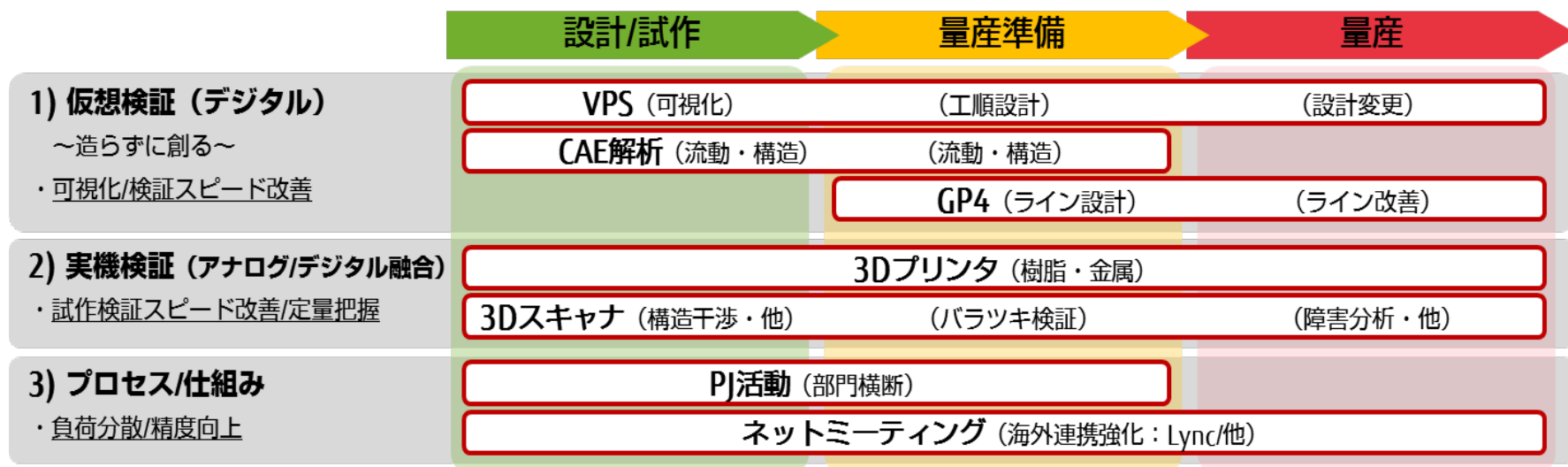
- フロントコアプロダクトのビジネス領域拡大
 - 国内ビジネスの拡大と次世代リネンタグによる海外ビジネス拡大
 - 手のひら静脈認証の組み込み機器市場拡大（組み込み用認証エンジン開発）
 - 汎用タブレット等と当社I/Oプロダクトの組み合わせ商品強化

- 最先端プラットフォーム（基盤）によるソリューションビジネス拡大
 - RFID、ビーコン等のセンサー基盤によるIoTシステム/クラウドサービス
 - 手のひら静脈認証によるカードレス決済プラットフォーム

中期方針と2016年度取り組み（5）

事業効率化の更なる推進～プロセス革新～

- デジタルものづくりによる開発・生産プロセスの革新
- ゼロディフェクト：品質のあくなき追求



2016年度連結業績予想

※ 営業利益、経常利益、純利益のいずれも上場来最高を目指す [億円]

摘要		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 純利益
2016年度 計画	上期	526	12	7	5	20.86円
	通期	1,135	57	49	34	141.88円
2015年度 実績	上期	557	20	19	13	53.67円
	通期	1,201	55	47	33	135.93円
増減額	上期	△31	△8	△12	△8	
	通期	△66	+2	+2	+1	

海外売上高 ()内は売上高比率 [億円]

2016年度計画	340 (30.0%)
2015年度実績	352 (29.3%)

	期中平均為替レート (1USD=)
2016年度想定	110円
2015年度	120円

セグメント別売上高・営業利益予想

[億円]

摘要	2015年度		2016年度		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
グローバルプロダクト ビジネス	570	37	534	23	△36	△14
サービスインテグレーション ビジネス	283	35	284	35	+1	±0
パブリックソリューション ビジネス	178	15	191	16	+13	+1
フロントソリューション ビジネス	169	△12	125	4	△44	+16
その他ビジネス/ 全社費用(戦略投資含む)	1	△20	1	△20	±0	±0
計	1,201	55	1,135	57	△66	+2

地域別売上高予想

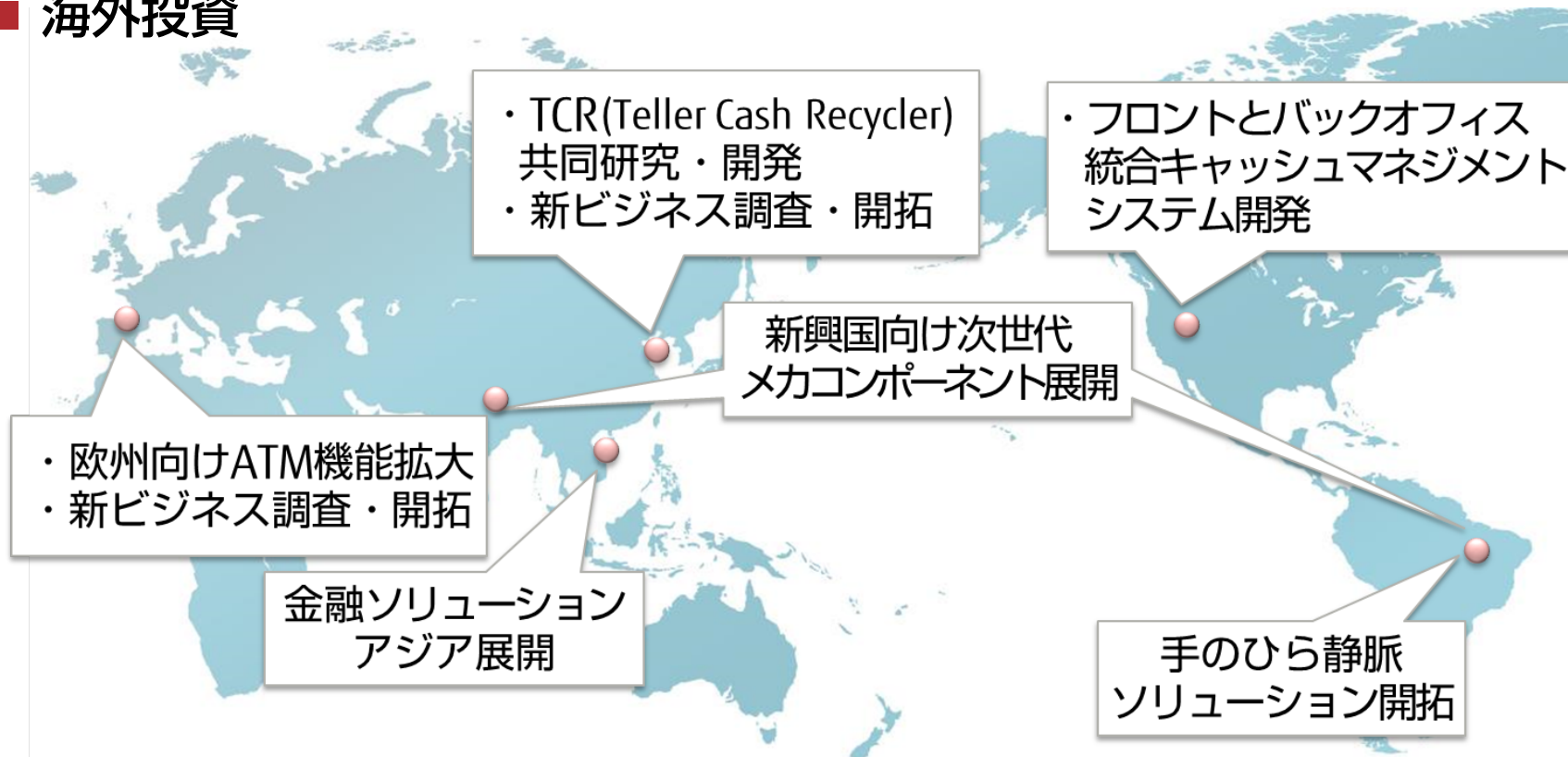
[億円]

摘要	2015年度	2016年度	増減額
国内	849	795	△54
海外	352	373	+21
米州	96	108	+12
欧州	123	135	+12
アジア	132	130	△2
【中国】	【97】	【97】	【±0】
その他	1	0	△1
為替影響	—	△33	△33
合計	1,201	1,135	△66

■ 国内投資

- インバウンド需要の増大に対する新サービスの構築
- 新たなキャッシュデリバリサービスの開発
- 公営くじ市場向け新型窓口システムの開発
- 手のひら静脈認証によるカードレス決済サービスの提供（クラウド基盤）

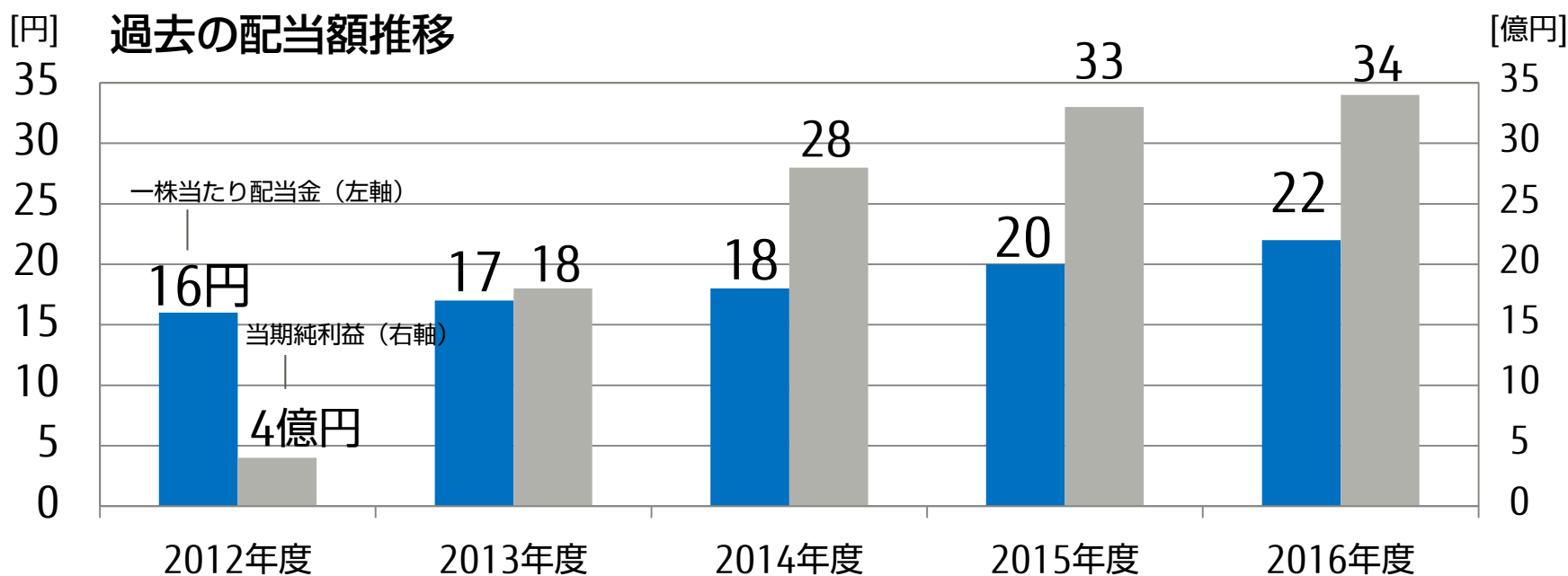
■ 海外投資



配当について

配当方針： 安定配当を基本に、各事業年度の利益状況と将来の事業展開を考慮し決定

摘要	中間	期末	年間
2015年度	9円	11円予定	20円予定
2016年度	11円計画	11円計画	22円計画

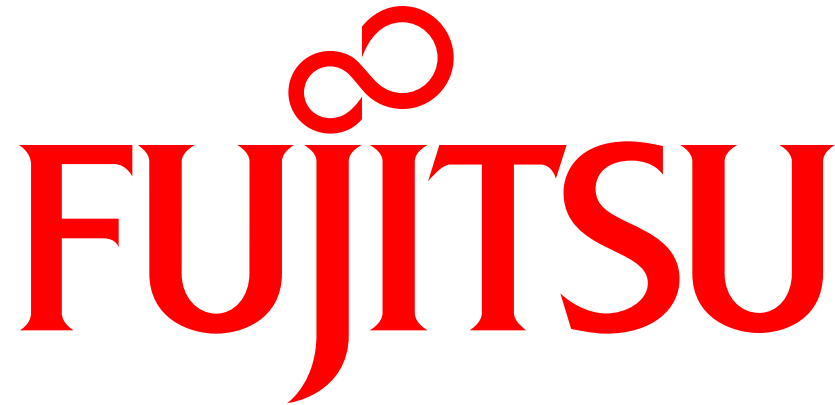


<見通しに関する注意事項>

- 本資料には、富士通フロンテックが現時点で把握可能な情報から判断した想定などにもとづく将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。
- また、多様なリスクや不確実性（経済動向、関連業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度などがあります）を含んでおります。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

<商標について>

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。



shaping tomorrow with you